

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL : 019-623-5575
FAX : 019-623-5576

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

工場・倉庫のIoT技術の導入のすすめ

本記事では、工場・倉庫の省力化やIoT、予知保全の基本から具体的な導入事例までをご紹介します。

工場や倉庫の生産性向上、省力化などで困っている方は、ぜひ参考にしてください。

工場・倉庫の省力化とは？

工場や倉庫における省力化とは、人手を減らし、作業効率を高めることを指します。

特に、大規模な施設においては、人件費の削減や作業の迅速化が求められるため、省力化は重要な課題となります。

工場・倉庫のIoT機器



専用センサを各部品に設置して損傷や潤滑状態を常時監視するIoT



現場で求められる機能と高速性を凝縮した画像検査カメラ



回転機の振動・温度を測定しトラブルを事前予知するIoT



成形不良発生前に冷却性能低下の兆候を早期発見

上記のようなIoT機器は、工場や倉庫の機器をインターネットに接続し、データの収集や管理を行う技術です。

これにより、リアルタイムでの監視や分析が可能となり、作業の効率化が図られます。

例えば、IoTセンサーを使用して部品の損傷や潤滑状態をリアルタイムで監視し、必要に応じて自動的に調整することが可能です。

また、物流システムにIoTを導入することで、在庫管理や配送の最適化が実現します。

